

呉工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	地域実践演習
科目基礎情報						
科目番号	0201		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 4		
開設学科	機械工学科		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	4		
教科書/教材	自作プリント等					
担当教員	林 和彦					
到達目標						
プロジェクトによる体験を通して、専門分野における主体性の自己理解を深めることも目的とする。 1. どのようなプロジェクトで何をするのかを、自分で考えて判断して決定して実施する。 2. その活動が自分にとってどのような経験であったかを自覚する。 3. その自覚から、次の行動を考えて判断して決定して実施する。 4. プロジェクトの活動において協働の活動を行う。 5. 体験から得られた知見を発信して、他人と共有して、自己理解を深める。 6. 地域をフィールドした活動や地域と連携した活動を行う。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1			どのようなプロジェクトで何を するのかを、自分で考えて判断して 決定して活動する。		どのようなプロジェクトで何をす るのかを、自分で考えて判断して 決定して活動することができない 。	
評価項目2			活動が自分にとってどのような経 験であったかを自覚するための行 動をする。		活動が自分にとってどのような経 験であったかを自覚するための行 動ができない。	
評価項目3			経験から得た自覚から、次の行動 を考えて判断して決定して実施す る。		経験から得た自覚から、次の行動 を考えて判断して決定して実施す ることができない。	
評価項目4			プロジェクトにおいて協働の活動 を行う。		プロジェクトにおいて協働の活動 ができない。	
評価項目5			体験から得られた知見を発信して 、他人と共有して、自己理解を深 める。		体験から得られた知見を発信す ることができない。	
評価項目6			地域をフィールドした活動や地域 と連携した活動を行う。		地域をフィールドした活動や地域 と連携した活動ができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	3年生までのインキュベーションワークの活動を踏まえて、専門分野に関連するプロジェクトに取り組む。学生はプロジ ェクトの活動を通して、専門分野における主体性についての自己理解を深める。自己理解を深めるために、どのような プロジェクトで何をするのかを、自分で考えて判断して決定して活動をして、その活動が自分にとってどのような経験 であったかを振り返り、その振り返りで得た知見を発信し且つ他人の発信した内容を共有して、自分の認識を相対化す る活動をする。また、地域をフィールドした活動や地域と連携した活動を行う。					
授業の進め方・方法	演習, 実習, グループワーク, 講義					
注意点	担当教員が決まった場合のみ履修可能です。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス	全体ワークによって、主体的に活動あうる態度と志向 性を醸成する。		
		2週	全体ワークショップ	全体ワークによって、主体的に活動あうる態度と志向 性を醸成する。		
		3週	全体ワークショップ	全体ワークによって、主体的に活動あうる態度と志向 性を醸成する。		
		4週	チーム編成, 個別ガイダンス	各テーマごとに分かれて、課題設定と課題解決プロセ スを理解する。		
		5週	調査活動・実践活動／講習	調査活動において課題を設定し、課題解決について立 案し、実行計画を立てる。		
		6週	調査活動・実践活動／講習	調査活動において課題を設定し、課題解決について立 案し、実行計画を立てる。		
		7週	調査活動・実践活動／講習	調査活動において課題を設定し、課題解決について立 案し、実行計画を立てる。		
		8週	調査活動・実践活動／講習	調査活動において課題を設定し、課題解決について立 案し、実行計画を立てる。		
	2ndQ	9週	調査活動・実践活動／講習	課題解決のために、計画に基づいて実践活動を行う。 つねに振り返りを行い、計画と活動実績との差異を見 つけるなど、検討活動を行う。また、必要に応じて外 部評価を受ける。		
		10週	調査活動・実践活動／講習	課題解決のために、計画に基づいて実践活動を行う。 つねに振り返りを行い、計画と活動実績との差異を見 つけるなど、検討活動を行う。また、必要に応じて外 部評価を受ける。		

		11週	調査活動・実践活動／講習	課題解決のために、計画に基づいて実践活動を行う。つねに振り返りを行い、計画と活動実績との差異を見つけるなど、検討活動を行う。また、必要に応じて外部評価を受ける。
		12週	発表準備	発表準備
		13週	発表会	発表
		14週	レポート作成と活動内容の振り返り	レポート作成：発表会后、活動成果としてレポートを作成する。
		15週	期末試験（※）	
		16週	レポート提出と後期の活動のための計画立案	課題解決のために、計画に基づいて実践活動を行う。つねに振り返りを行い、計画と活動実績との差異を見つけるなど、検討活動を行う。また、必要に応じて外部評価を受ける。
後期	3rdQ	1週	活動内容の目標の確認	課題解決のために、計画に基づいて実践活動を行う。つねに振り返りを行い、計画と活動実績との差異を見つけるなど、検討活動を行う。また、必要に応じて外部評価を受ける。
		2週	調査活動・実践活動／講習	課題解決のために、計画に基づいて実践活動を行う。つねに振り返りを行い、計画と活動実績との差異を見つけるなど、検討活動を行う。また、必要に応じて外部評価を受ける。
		3週	調査活動・実践活動／講習	課題解決のために、計画に基づいて実践活動を行う。つねに振り返りを行い、計画と活動実績との差異を見つけるなど、検討活動を行う。また、必要に応じて外部評価を受ける。
		4週	調査活動・実践活動／講習	課題解決のために、計画に基づいて実践活動を行う。つねに振り返りを行い、計画と活動実績との差異を見つけるなど、検討活動を行う。また、必要に応じて外部評価を受ける。
		5週	調査活動・実践活動／講習	課題解決のために、計画に基づいて実践活動を行う。つねに振り返りを行い、計画と活動実績との差異を見つけるなど、検討活動を行う。また、必要に応じて外部評価を受ける。
		6週	調査活動・実践活動／講習	課題解決のために、計画に基づいて実践活動を行う。つねに振り返りを行い、計画と活動実績との差異を見つけるなど、検討活動を行う。また、必要に応じて外部評価を受ける。
		7週	調査活動・実践活動／講習	課題解決のために、計画に基づいて実践活動を行う。つねに振り返りを行い、計画と活動実績との差異を見つけるなど、検討活動を行う。また、必要に応じて外部評価を受ける。
		8週	調査活動・実践活動／講習	課題解決のために、計画に基づいて実践活動を行う。つねに振り返りを行い、計画と活動実績との差異を見つけるなど、検討活動を行う。また、必要に応じて外部評価を受ける。
	4thQ	9週	調査活動・実践活動／講習	課題解決のために、計画に基づいて実践活動を行う。つねに振り返りを行い、計画と活動実績との差異を見つけるなど、検討活動を行う。また、必要に応じて外部評価を受ける。
		10週	調査活動・実践活動／講習	課題解決のために、計画に基づいて実践活動を行う。つねに振り返りを行い、計画と活動実績との差異を見つけるなど、検討活動を行う。また、必要に応じて外部評価を受ける。
		11週	調査活動・実践活動／講習	課題解決のために、計画に基づいて実践活動を行う。つねに振り返りを行い、計画と活動実績との差異を見つけるなど、検討活動を行う。また、必要に応じて外部評価を受ける。
		12週	発表準備	発表準備
		13週	発表会	発表
		14週	振り返りとレポート作成	レポート作成：後期は1年間の活動内容を総括してレポートを作成する。
		15週	学年末試験（※）	
		16週	レポート提出	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	40	60	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	20	30	0	50
分野横断的能力	0	0	0	20	30	0	50